

● *Sir Thomas More* (『サー・トマス・モア』) を原書で読み味わう

* 新型コロナ感染拡大第6波のため、1月13日開始予定を5月12日に延期しました。

～近年になってシェイクスピア作品(共作)として公認されたシェイクスピアの英国史劇の最終に位置する作品、トマス・モアの栄光と没落の生涯を虚実ないまぜにして劇化した戯曲です。～

日時：毎月2回：第2、第4木曜日 13:30～15:30

日程：2022年5月12日～2023年7月末日(予定)

会場：国立市中一丁目集会所 (JR中央線 国立駅 南口側 徒歩4分ほど)

アクセス：<http://www.city.kunitachi.tokyo.jp/sub1/1466497490103.html>

(住所：国立市中1-10-34 ダイヤパレス1階 コミュニティースペース 無人施設・なし)



● サー・トマス・モア (1478-1535)

イングランドの法律家、思想家、人文主義者。政治・社会を風刺した『ユートピア』の著述で知られる。大法官までのぼりつめたがヘンリー8世により反逆罪で処刑された。没後400年の1935年にカトリック教会と聖公会で聖人となる。

[ウィキペディア参照]



テキスト：*Sir Thomas More, edited by John Jowett*

(The Arden Shakespeare-3) [写真]

チューター：関場 理一 (Sekiba Riichi, シェイクスピア研究者)

参加費：入会費 2,000 円、月額 3,000 円 (テキスト代実費別 {約 2700 円})

例会の進め方：毎回、原文で 100～130 行ほどを参加者一人 20-30 行ほどずつ分担して日本語で対訳式に読み下して内容を報告し合い、読みのポイントなどを確認しながら原文を味わう。

テキストの注釈を参照して、シェイクスピアの共同執筆、原作と検閲など戯曲の背景にある問題も考える。

主催：シェイクスピアの森 Tokyo

mail: foresta-shakes@nifty.com

(携帯) 090-8713-0109 (せきば)

Tel/Fax 042-521-0944

メール foresta-shakes1564@ymobile.ne.jp

* 随時見学歓迎：email でご希望日をお知らせください。
